

今年は9月6日(土)～13日(土)開催

【お問い合わせ先】

湧別町アクティブチャレンジデー実行委員会（事務局：教育委員会社会教育課）TEL 5 - 3 1 3 2

◆参加できるイベント

各種イベントを実施しますので、皆さんの参加をお待ちしています。

また、参加された方には参加賞を贈呈します（事前申込や会員登録が必要となります）。

①異業種間交流スポーツ大会 ベースボール5

9/6
(土)

●9:00～12:00 中湧別総合体育館

事業所ごとで5人1チームを結成し対決します。自分の業種と異なる方とスポーツを通じて出会い、交流することでチームワークを高め、仕事の生産性を高めることを目的としています。

②ゆうべつ五鹿山マラソン 2025

9/7
(日)

●9:00～12:00 五鹿山スキー場

最大斜度24度もある五鹿山スキー場の麓から頂上までを登り下りしながら駆け抜ける過酷なレースで、毎年、町内外から多くの方が参加しています。

③育児学級 WARAリズム

9/9
(火)

●10:00～11:00 湧別子育て支援センター

育児学級に登録している親子が、運動を通じてふれあいを深めます。また、身体を動かして遊ぶ事へのきっかけづくりにします。

④ゆうふいと。

9/11
(木)

●10:00～11:30 湧別総合体育館

運動の重要性や楽しさを知って頂くために運動・トレーニング指導を行います。

⑤^{たいきん}大筋クラブ

9/12
(金)

●9:30～10:30 文化センターさざ波
●13:30～14:30 文化センターTOM

健康運動指導士が介護予防のためのストレッチ・有酸素運動・筋トレなどの運動教室を行います。

⑥チャレンジ元気まつり2025

9/13
(土)

●10:00～13:00 文化センターTOM

骨量測定や肺年齢測定などみなさんの健康へのきっかけづくりを行います。ヘルシー料理試食会も実施します。

⑦ゆうべつモルック大会

9/13
(土)

●9:00～12:00 中湧別ゲートボール場
横広場

老若男女問わず、誰もが楽しめるニュースポーツ「モルック」を通じて、健康増進や活力あるコミュニティづくりを目指します。3～4人で1チーム形成し予選リーグ決勝トーナメントを戦います。

⑧ラジオ体操会

9/13
(土)

●9:00～9:30 文化センターさざ波
文化センターTOM
上湧別農村環境改善センター

スポーツ推進委員がラジオ体操のストレッチ指導を行います。ぜひたくさんのご参加をお待ちしております。

スポーツ施設無料開放

チャレンジ期間に限り、総合体育館、プール、パークゴルフ場を無料開放します。ぜひご利用ください。※予約がある場合は、予約を優先します

チャレンジ
期間中

◆参加報告

●町内イベントに参加した場合

各会場の受付で住所・氏名を記入

●個人や家族で運動をした場合

パソコン・スマートフォンから湧別町ホームページにアクセスし参加報告



参加報告フォーム

ゆうべつアクティブチャレンジ2025

湧別町は「健康づくり」や「スポーツ活動」の普及・啓発に長年努めてきたことから、少子高齢化が進むなかであっても、町民の健康やスポーツに対する意識は高く、少年団や部活動、団体やサークル活動が活発です。

「ゆうべつアクティブチャレンジ」に参加して、さらなる「健康づくり」や「スポーツ活動」への意欲向上に取り組みましょう！

◆ゆうべつアクティブチャレンジって？

昨年は「ゆうべつチャレンジデー」を開催し、スポーツ振興と健康増進を目的に実施しました。今年は笹川スポーツ財団（SSF）が新たに主催する「SSFアクティブチャレンジ」に参加し、これまでの目的に加え社会課題の解決に向けた取り組みを行います。

- 年齢・性別を問わず気軽に参加が可能です。
- チャレンジ期間中（9/6～13）、運動やスポーツなどで体を動かしましょう。

◆昨年との違い

昨年は湧別町独自のイベントとして開催しましたが、今年は「SSFアクティブチャレンジ」という今年度初開催となる全国プログラムに参加し、昨年までのスポーツ振興と健康増進に加え、スポーツを通じた社会課題の解決を目指します。



SSFアクティブ
チャレンジ
公式サイト

◆誰が・何が対象になるの？

チャレンジ期間であれば、どの時間でも自分のペースで参加できます。

町内で行うものであれば、町民はもちろん、町外からの通勤・通学者や観光客など誰でも参加できます。

スポーツやトレーニングに限らず、**体を動かす内容であれば、どんな運動でも構いません。**

例えば、個人や友人、グループで・・・

- ウォーキングやジョギング
- パークゴルフやミニバレーなどを楽しむ
- 職場の休憩時間に、ラジオ体操やストレッチ
- スポーツ少年団やスポーツサークルの活動に参加
- 各団体が実施するスポーツイベントに参加 など

昨年の様子



町民ラジオ体操会（実行委員会）



ミニバレー（湧別ミニバレー協会）



モルック（川西自治会）



パークゴルフ交流会
（湧別パークゴルフ協会）



フィットネススクール
（社会教育課）



育児学級親子ヨガ
（湧別子育て支援センター）

6/
21

湧別町を元気に

神輿をあげる会 憐勇がイベント開催

上湧別神社の秋の例大祭に参加している住民グループ「神輿をあげる会 憐勇」が町を元気にしようと、「麦酒祭り」を開催しました。

イベントでは、各テーブルの代表者が参加するけん玉リレーや、特別ゲストとして美幌町出身のギタリスト、モンマユウヤさんのステージが行われたほか、豪華賞品が当たる抽選会では、番号が読み上げられるたびに場内が盛り上がり、多くの町民がイベントを楽しみました。

文化センターTOM



さまざまなイベントで盛り上がりました

6/
21

上手に跳び箱跳べるかな

第2回チャレンジスポーツスクール(器械体操)

チャレンジスポーツスクールは、さまざまなスポーツを通じてスポーツへの興味関心や仲間づくりを図るために、教育委員会が毎月1回開催しているもので、今年は55人が入学しています。

講師にオホーツクスポーツクラブ(網走市)から佐藤王紀監督、佐藤恵美指導者、平野信男指導者の3人を招き、「跳び箱、バク転、マット、鉄棒」の4種目行いました。

参加した児童は、「跳び箱楽しい」「もっと跳びたい」など楽しんでいる様子でした。

ゆうべつ学園第2体育館



器械体操に34人が挑戦しました

6/
26

湧別川の最初の一滴

ゆうべつ学園、上湧別学園が川の総合学習

この授業は、年間を通じて全4回の実施を予定している、湧別川をテーマにした川の総合学習の一環で、今回が初回になります。講師のゆうべつアウトドアクラブYU-PALの絹張洋史会長から、五鹿山公園の奥にある山道の脇から染み出た小さな川がいくつも集まり、やがて湧別川という大きな流れになっていくと説明を受けた児童からは、「子どもが大人になる様子に似ていて、まるで人生のようだ」といった感想もありました。

五鹿山公園



五鹿山に自生する植物についても説明があり、児童たちは身近な自然についても学ぶことができました

7/
4

子どもたちに特別な1日を

レバンガ北海道、湧別町を訪問

プロバスケットボールチーム「レバンガ北海道」に所属の、湧別町出身関野剛平選手が湧別町を訪れ、上湧別学園への学校訪問や町長表敬訪問、ミニバスケットボール教室を実施しました。

学校訪問では、関野選手やアカデミーコーチによる体育の授業が行われ、昼休みには後期課程の生徒たちと1on1で勝負。子どもたちは、プロ選手との特別な体験に目を輝かせながら、質問や会話を通じてバスケットボールへの興味を深めていました。

上湧別学園



関野選手から「挑戦する心を忘れず、楽しむことを大切にしてほしい」とメッセージが送られました



ホームページでは随時まちの話題を掲載しています



役場湧別庁舎前



7/
3~9

日本の文化・生活を体験

友好都市 カナダ・ホワイトコート町訪問団来町

湧別町と友好都市提携を結んでいるカナダ・ホワイトコート町から8人の訪問団が来町し、ホームステイを通じて学校生活や日本の文化、生活を体験しました。当初は7月2日に到着する予定でしたが、飛行機のトラブルにより1日遅れのスタートに。

思わぬアクシデントがあったものの、訪問団の皆さんは元気な様子で町を訪れ、滞在中には町長への表敬訪問や町内の学校・文化施設の視察、地域住民との交流などを行い、短い期間ながらも充実したスケジュールの中で有意義な時間を過ごしました。

8日には歓迎夕食会が開催され、ホストファミリーや交流事業関係者など約60人が参加。訪問団の皆さんが日本語で自己紹介を行ったほか、上湧別屯田太鼓による歓迎アトラクションでは、訪問団も即興で演奏に参加し、心温まる交流の場となりました。



文化センターさざ波



訪問団の皆さんは、ホストファミリーが家族のように温かく接してくれたことや、長い準備期間を経て湧別町を訪れることができたことをとても喜んでいました。

今回の訪問団の来町に際し、協力いただいたホストファミリーの皆さん、交流事業に携わった関係者の皆さま、そして視察や体験の場を提供していただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

サロマ湖岸



町内5地区に分かれて清掃が行われました

7/
5

自然環境を守る！

サロマ湖ごみゼロ運動

気温30度を超える晴天の中、湧別漁業協同組合（組合員、青年部・女性部、職員）など325人が参加し、サロマ湖沿岸を歩きながら、「今日は暑いけど、みんなで協力して大切なサロマ湖を守らないとね」と汗を滲ませながら、大小さまざまなごみを拾っていました。

この活動は、サロマ湖の美しい自然と豊かな恵みを次世代に残すために毎年行われており、自然と共生しながら未来へつなぐ、大切な取り組みです。

7/
6

技術と団結力を競う 遠軽分会連合消防演習

北海道消防協会オホーツク地方支部遠軽分会の第67回連合消防演習が開催されました。

湧別・佐呂間・遠軽の各消防団員約250人と消防車両18台が集結。遠軽地区広域組合管理者の佐々木遠軽町長や副管理者の武田佐呂間町長、刈田湧別町長をはじめ、多くのご来賓の方が演習を見守りました。組織の団結力と指揮者の指揮能力を示す「小隊訓練」や、安全かつ俊敏に放水で倒す「消防操法訓練」が実施されると、息の合った動きや真摯に取り組む姿勢に拍手が送られました。

かみゆうべつチューリップ公園



団員一人ひとりが地域の安全安心に対する決意を再確認しました

7/
10

町花チューリップを学ぶ

上湧別学園生徒がチューリップ球根の掘り上げ体験

これは、町花であるチューリップについて学ぶため、チューリップの一連の育成サイクルの学習に取り組んでいるもので、8年生25人が参加しました。

公園職員から掘り上げ方法の説明を受けた生徒たちは、慣れない作業に泥だらけになりながらも、「来年もきれいな花が咲きますように」と想いをこめ、奥深くに隠れている球根までしっかりと掘り上げていました。

参加した生徒は作業の大変さとサイクルを学ぶことができた様子でした。

かみゆうべつチューリップ公園



参加した生徒は「花を咲かせるために、こんなに大変な作業をしているとは知らなかった。」と話しました

7/
12

きれいな湧別川を未来へ

カヌーで川を清掃

ゆうべつアウトドアクラブYU-PAL(会長 絹張洋史さん)主催による「Clean the river 2025 ゆうべつ川カヌー清掃」が行われました。

この活動は、自然豊かで美しい湧別川を未来に守り続けるためにYU-PALが毎年実施しているもので、今年は町内外から集まった9人が参加。中湧別橋から河口樋門までの約5キロをカヌーで下り、2時間半ほどかけて川を清掃し、40リットルのゴミ袋8袋分のごみや、自動車のタイヤ3本を回収しました。

湧別川



清掃活動を通じて、自然の豊かさを肌で感じながら、楽しく有意義な時間を過ごしました

7/
15

地域の安全・安心な暮らしのために

北村茂さんが防犯功労者表彰を受賞

長年、遠軽地区防犯協会代議員としてご尽力いただいた北村茂さんに、北海道警察本部および北海道防犯協会連合会から表彰状が授与されました。

北村さんは、平成22年7月から、遠軽地区防犯協会代議員に就任して以降、地域安全運動や祭典での防犯パトロール、高齢者訪問による犯罪被害防止啓発活動を積極的に行うなど、地域の安全・安心な暮らしを支える柱としてご尽力されてきました。



写真中央 北村茂さん（上湧別屯田市街地）



湧別高校



和やかな雰囲気で見意見交換が行われました

7/
16

魅力ある学校づくりとまちづくり

湧高生と刈田町長が意見交換会

この意見交換会は、刈田町長が高校生の柔軟な意見や湧別町への想いなどを直接聞くために実施しているもので、今回が13回目となります。生徒会(吉田春菜会長)の役員6人が出席しました。

生徒たちが考えた「湧別高校や湧別町の魅力化」、「子どもたちが将来戻ってきたくなるまちづくり」を意見交換会のテーマとして、沢山のアイデアが出されました。

刈田町長は、「湧別高校には素晴らしい魅力が沢山あるので、高校生自身もどんどん後輩たちに伝えて広めて欲しい」と話しました。

主な意見

- 湧高生全員が、自分の高校の魅力をはっきりと言えるように、まずは自分たちが湧高の魅力はどんなところなのかを再確認することが大事だと思う。
- 卒業式にテレビに局に依頼したり、芸能人などを呼んだりして、その後、町の文化センターなどでコンサートをすれば、町や高校のPRにつながるのではないか。
- 湧別高校へ向かう道路の交差点にある湧別高校の看板が色あせてきているので、生徒たちの手で目立つように直してみるのはいかがでしょうか。
- 湧別町を覚えてもらいやすくなる町のキャッチフレーズをつくると、より町の魅力を発信できるのではないか。
- 公営住宅など新しい設備の整ったきれいな住宅がさらに充実すると、町に住みたくなる若い人は増えるのではないかな。

三里浜キャンプ場



7/
20

オホーツクの夏を満喫！

龍宮えびホタテまつり

「第37回湧別サロマ湖龍宮えびホタテまつり」が開催され、全国各地から親子連れなど大勢の方が詰めかけました。

龍宮にちなんだ人気のイベント、「龍宮亀引きトライアル」は賞金総額10万円。想像以上の亀の重さに、子どもも大人も全力で亀を引く姿に会場は大いに盛り上がりました。そのほかにも、「エビ早食い競争」「湖中宝探し大会」「サロマ湖地びき綱引き」「ジャンケン勝ち抜き龍拳大会」などのユニークなイベントに、笑顔あふれる1日となりました。

広告

お電話1本、24時間、365日お迎えに伺います



株式会社

えんがる葬祭

☎0158-42-9898

遠軽町学田2丁目6-1 FAX 0158-42-9933

24時間
受付

式場収容数

- ・大ホール400名
- ・中ホール200名
- ・小ホール100名
- ・法事ホール